

京丹後市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区 分	住民基本台帳人口 (平成27年1月1日)	歳 出 額 A	実質収支	人 件 費 B	人件費率 B/A	(参考) 25年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
26年度	58,514	37,615,513	1,063,426	5,366,196	14.3	16.1

(注) 1 平成26年度決算(一般会計)における人件費及び人件費率です。

2 この人件費には、議員・特別職(常勤・非常勤)に支給される給与及び報酬を含みます。

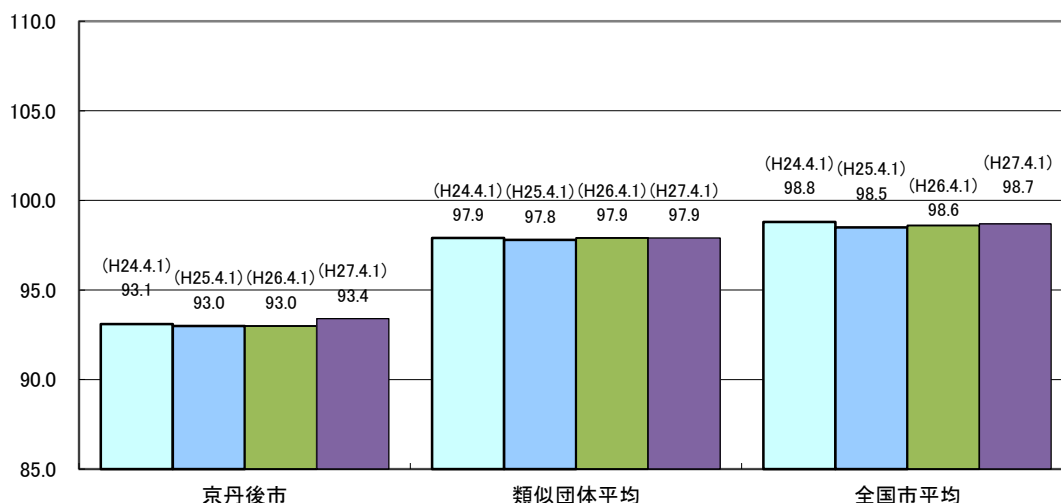
(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
26年度	647	2,169,507	515,287	847,961	3,532,755	5,460	5,989

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。

2 職員数は、平成26年4月1日現在の人数です。

(3) ラスパイレス指数の状況(各年4月1日現在)



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数です。

2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

3 平成24年及び平成25年は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値です。

(4) 給与改定の状況(省略)

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

① 給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容(平均引き下げ率、実施(実施予定)時期、経過措置の有無等具体的な内容(未実施の場合にはその理由))

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日 (内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。激変緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施。 他の給料表については、人事院勧告に準拠した見直しを実施。
--

② 地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

(支給割合) (実施時期)			
(参考)			
	平成27年度の 支給割合	見直し後の支給割 合(H30.4.1)	平成28年度の 支給割合
国基準による支給割合	0%	0%	0%
京丹後市の支給割合	0%	0%	0%

③ その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施) 単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施。(平成28年4月1日実施)
--

(6) 特記事項

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成27年4月1日現在)

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
京丹後市(399人)	42.7歳	312,800円	417,700円	338,451円
京都府	43.8歳	334,162円	429,835円	384,623円
国(行政職俸給表(一))	43.5歳	334,283円	—	408,996円
類似団体	42.3歳	319,936円	394,984円	355,183円

② 技能労務職

区 分	公 務 員					民 間			参 考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する 民間類 似職種	平均 年齢	平均給与月額 (B)	
京丹後市	50.7歳	56人	309,300円	327,500円	317,810円	—	—	—	—
うち清掃職員	49.8歳	3人	315,567円	346,100円	331,900円	廃棄物処理業	44.9歳	289,500円	1.20
うち調理員	50.3歳	38人	305,339円	322,384円	312,326円	調理師	37.6歳	265,100円	1.22
うち作業員	51.9歳	15人	317,920円	336,760円	328,887円	用務員	54.6歳	200,300円	1.68
京都府	54.4歳	254人	359,215円	411,155円	393,767円	—	—	—	—
国(行政職表(二))	50.2歳	2,994人	289,141円	—	328,318円	—	—	—	—
類似団体	50.0歳	32人	317,404円	355,133円	338,663円	—	—	—	—

区 分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
京丹後市	5,271,466円	—	—
うち清掃職員	5,551,447円	3,952,300円	1.40
うち調理員	5,187,645円	3,507,600円	1.48
うち作業員	5,427,814円	2,774,400円	1.96

- ※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。(平成23～25年の3ヶ年平均)
 ※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。
 ※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年度に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

- (注) 1 「平均給料月額」とは、平成27年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。
 また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出しています。
 3 平均年齢は、10進法で表示しています。

(2) 職員の初任給の状況(平成27年4月1日現在)

区 分		京丹後市	京都府	国
一般行政職	大学卒	174,200円	181,800円	174,200円
	高校卒	142,100円	147,500円	142,100円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成27年4月1日現在)

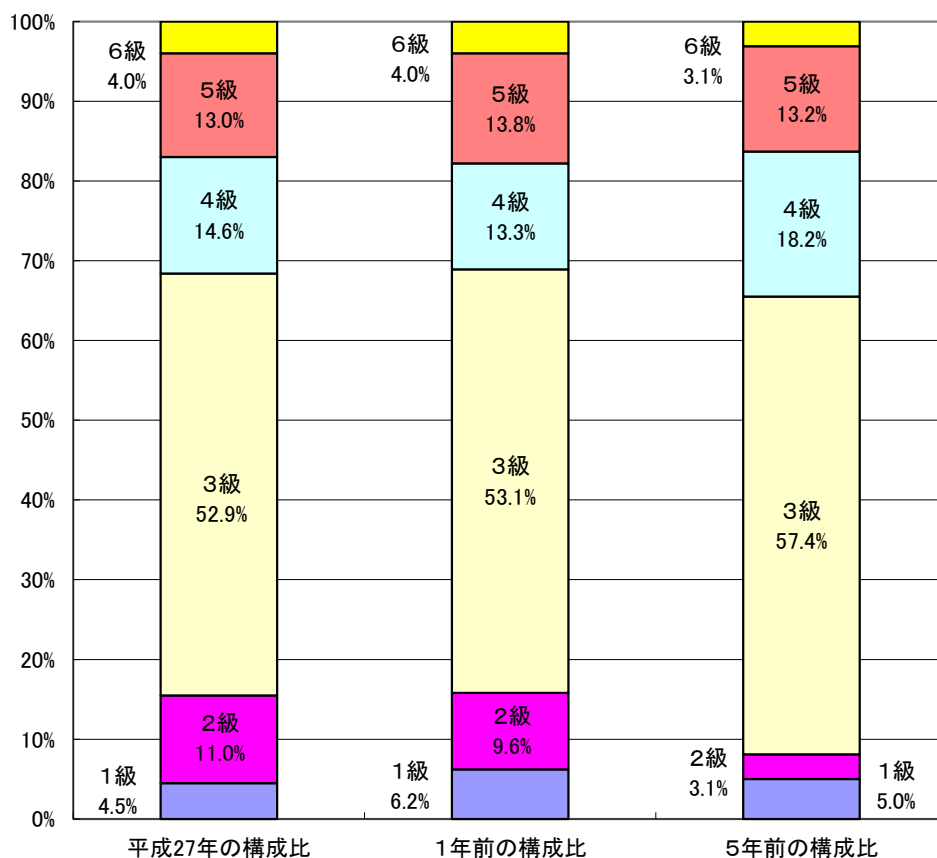
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	252,567円	324,233円	370,714円	389,550円
	高校卒	—	—	325,920円	354,900円
技能労務職	高校卒	—	276,700円	292,920円	315,850円
	中学卒	—	—	—	—

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況(平成27年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
6級	部長の職務	16人	4.0%	315,800円	407,900円
5級	課長、主幹の職務	52人	13.0%	285,000円	390,700円
4級	課長補佐の職務	58人	14.6%	258,300円	378,700円
3級	特に高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務 主任の職務	211人	52.9%	223,900円	347,700円
2級	相当高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務	44人	11.0%	187,700円	301,900円
1級	定型的な業務を行う職務	18人	4.5%	137,600円	244,900円
計		399人	100.0%		

- (注) 1 京丹後市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

現在のところ、勤務成績は昇給に反映していません。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

京丹後市	京都府	国
1人当たり平均支給額(26年度) 1,358 千円	1人当たり平均支給額(26年度) 1,639 千円	—
(26年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.50 月分 (1.45)月分 (0.70)月分	(26年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.50 月分 (1.45)月分 (0.70)月分	(26年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.50 月分 (1.45)月分 (0.70)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 10%、20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 10%~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

[参考] 勤勉手当への勤務成績の反映状況(一般行政職)

現在のところ、勤務成績は勤勉手当に反映していません。

(2) 退職手当(平成27年4月1日現在)

京丹後市	国
(支給率) 自己都合 勤続20年 20.445 月分 勤続25年 29.145 月分 勤続35年 41.325 月分 最高限度額 49.59 月分 その他の加算措置 定年前早期退職加算 2%~20%	(支給率) 京丹後市と同じ
1人当たり平均支給額 2,096 千円 18,537 千円	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成26年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当

(平成27年4月1日現在)

支給実績(26年度決算)	0 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(26年度決算)	0 円		
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
—	— %	— 人	0 %

(4) 特殊勤務手当(平成27年4月1日現在)

支給実績(26年度決算)	180,348 千円			
支給職員1人当たり平均支給年額(26年度決算)	546,509 円			
職員全体に占める手当支給職員の割合(26年度)	31.1 %			
手当の種類(手当数)	20			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績(26年度決算)	左記職員に対する支給単価
防疫等作業手当	感染症の発生予防又はまん延防止のため消毒等の作業に従事する職員	感染症の発生予防又はまん延防止のため消毒等の作業	—	日額500円
不燃物処理手当	最終処分場に勤務する職員	ごみの収集及び処理作業	—	月額7,000円

火葬業務手当	火葬作業に従事する職員	火葬処理	－	1体につき1,500円
し尿収集業務手当	し尿の処理作業に従事する職員	収集、運搬及び処分に係る作業	480千円	月額10,000円
行旅死亡人収容業務手当	行旅死亡人の処置に従事した職員	行旅死亡人の収容作業	－	日額2,000円
精神障害者護送業務手当	福祉事務所に勤務する職員	精神障害者の収容及び護送の作業	－	1回1,000円
生活保護業務手当	福祉事務所に勤務する職員	生活保護世帯の査察指導又は訪問調査等の業務	252千円	月額3,000円
市税徴収業務手当	市税の徴収業務に常時従事する職員	市税の徴収業務	72千円	月額3,000円
市税徴収専任業務手当	徴収事務に専任して従事する職員	市税及び使用料等の徴収業務	－	月額30,000円
隔日勤務手当	24時間の交代制勤務の消防職員	隔日勤務	5,788千円	1当務650円
火災出動手当	消防職員	火災等による緊急出動	365千円	1回330円
救急出動手当	消防職員	救急により出動	1,671千円	1回220円
救急業務手当	救急救命士での資格を有する消防吏員	救急業務に従事	342千円	月額1,500円
放射線取扱手当	診療放射線技師、診療エックス線技師	エックス線その他の放射線を人体に対して照射する作業	982千円	日額230円
夜間看護等手当	助産師、看護師	正規の勤務時間による勤務の一部又は全部が深夜において行われる看護等の業務	44,985千円	ア その勤務時間が深夜の全部を含む勤務である場合 7,600円 イ その勤務時間が深夜の一部を含む勤務である場合 次に掲げる場合に応じ、次に掲げる額 (ア) 深夜における勤務時間が4時間以上である場合 3,700円 (イ) 深夜における勤務時間が2時間以上4時間未満である場合 3,200円 (ウ) 深夜における勤務時間が2時間未満である場合 2,200円
医師業務手当	医師	医師の業務に従事	88,752千円	病院長 月額60万円以内 病院特別参与 月額50万円以内 病院副院長 月額40万円以内 診療所長 月額30万円以内 病院診療部長 月額30万円以内 病院診療科部長 月額25万円以内 病院診療科医長 月額21万円以内 医師 月額17万円 過疎地域に設置された診療所に常駐し、当該地域医療に従事した医師 月額15万円以内 職務に直接役立つと認められる資格を有する場合 月額5千円/資格(上限1万円)
医師派遣手当	医師	医療機関、地方公共団体等の派遣依頼により、主たる勤務公署を離れて医療業務に従事した場合	11,188千円	1回 市内用務 4時間未満 10,000円 4時間以上 20,000円 市外用務 4時間未満 20,000円 4時間以上 40,000円 加算額

				深夜時間 2,000円/時 7時間45分超過 4,000円/時
緊急医療業務手当	医師	勤務時間外において、救急患者に対して緊急に医療の処置を施すために呼出しを受け、医療業務に従事した場合	20,600千円	1回10,000円 ただし、年末年始は1回20,000円
分べん取扱手当	産科医師	産科医師が分べん業務に従事	3,320千円	分べん業務1回につき10,000円に当該分べんに係る胎児の数を乗じて得た額
小児救急対応手当	医師	当直医師が15歳以下の救急外来患者に対して医療業務を行った場合	1,240千円	小児患者1人につき500円

(5) 時間外勤務手当

支給実績（26年度決算）	331,717千円
職員1人当たり平均支給年額（26年度決算）	395千円
支給実績（25年度決算）	256,508千円
職員1人当たり平均支給年額（25年度決算）	309千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（○年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含みます。

(6) その他の手当(平成27年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(26年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(26年度決算)
初任給調整手当	ア 採用による欠員補充が困難である医療職給料表(一)の適用を受ける医師(35年以内) 366,700円(16年未満)～52,500円(34年以上35年未満) イ 医療職給料表(二)の適用を受ける医療技術職(5年以内) 6,300円	異なる	支給区分と支給額の相違	89,826千円	2,495,170円
扶養手当	ア 配偶者 13,000円 イ 配偶者以外の扶養親族 1人につき 6,500円 ただし、配偶者がいない場合 1人のみ 11,000円 ウ 満16歳になる年度の4月から満22歳になる年度の3月までの間にある子 1人につき5,000円加算	同じ	—	131,224千円	209,958円
住居手当	借家居住者 月額12,000円以上の家賃を支払っている場合 家賃額に応じて1,000円～27,000円	同じ	—	24,063千円	279,798円
通勤手当	ア 交通機関利用者 定期代相当分、限度額 1ヶ月当たり55,000円 イ 自動車等交通用具利用者(片道2km以上) 2km以上3km未満 3,000円、3km以上 1kmまでごとに600円を加算(限度額 24,500円) ウ アとイの併用者 アとイの合計額(限度額 1ヶ月当たり55,000円)	異なる	イ 距離区分と支給額(国の制度) 2km以上5km未満 2,000円 5km以上は5kmごとの区分で設定 60km以上 24,500円	85,628千円	95,037円
単身赴任手当	異動等に伴って住居を移転し、やむを得ず配偶者と別居し単身で生活することが常況となった職員 基礎額 26,000円	同じ	—	2,174千円	362,333円

	加算額 6,000円(100km以上)~58,000円(2,500km以上)				
休日勤務手当	祝日、年末年始の休日に正規の勤務時間中に勤務 勤務1時間あたりの給与額の100分の135	同じ	—	39,031 千円	66,266 円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として深夜(午後10時~翌日午前5時まで)に勤務した職員に対し、勤務1時間あたりの給与額の100分の25	同じ	—	33,770 千円	144,317 円
宿日直手当	通常の日直 4,200円 市立病院当直勤務 医師 35,000円 その他 5,900円 年末年始は倍額 勤務が5時間未満は100分の50	異なる	支給額の相違 (国の制度) 医療施設における医師の当直勤務 20,000円	25,866 千円	59,875 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員のうち、課長補佐相当職以上の職員に対して、給料月額額の100分の5から100分の25	異なる	(国の制度) 役職ごとに定額	111,586 千円	500,385 円
管理職員特別勤務手当	ア 管理職手当支給職員が臨時又は緊急の必要により週休日等に勤務した場合(2時間以上の勤務) 部長級等 8,000円 課長級等 6,000円 課長補佐級等 4,000円 4時間未満は100分の50 6時間超は100分の150 イ 管理職手当支給職員が臨時又は緊急の必要により週休日等以外の日の午前0時から午前5時までの間に勤務した場合 部長級等 4,000円 課長級等 3,000円 課長補佐級等 2,000円	異なる	支給区分と支給額の相違 (国の制度) 支給区分、実働時間により 6,000円~12,000円 6時間超は100分の150	5,620 千円	33,059 円

5 特別職の報酬等の状況(平成27年4月1日現在)

区 分		給 料 月 額 等	
給 料	市 長	792,000 円 (862,000 円)	(参考) 類似団体における最高/最低額 1,061,000 円 / 440,000 円
	副 市 長	674,500 円 (696,000 円)	885,000 円 / 375,000 円
報 酬	議 長	450,000 円	737,000 円 / 310,000 円
	副 議 長	400,000 円	653,000 円 / 245,000 円
	議 員	380,000 円	591,000 円 / 222,000 円
期 末 手 当	市 長 副 市 長	(26年度支給割合) 3.10 月分	
	議 長 副 議 長 議 員	(26年度支給割合) 3.10 月分	
退 職 手 当	市 長	(算定方式) 給料月額×在職年数×100分の530	(1期の手当額) 16,790,400 円 (支給時期) 任期ごと
	副 市 長	給料月額×在職年数×100分の315	8,498,700 円

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額です。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

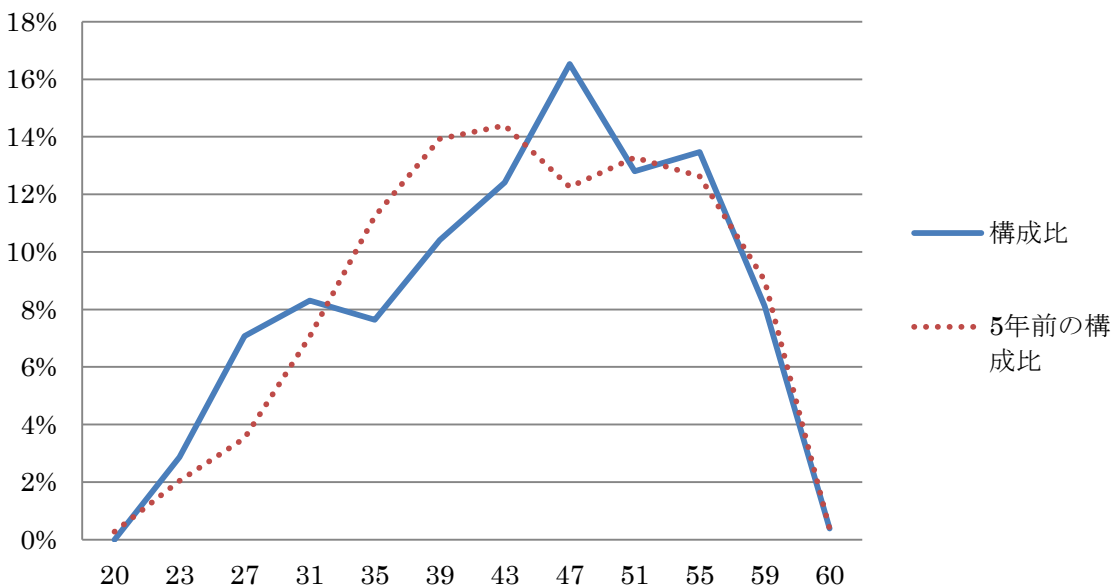
(各年4月1日現在)

部門		区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
			平成26年	平成27年		
普通 会計 部門	一般行政部門	議会	6	5	▲1	
		総務	123	119	▲4	
		税務	22	22	0	
		労働	3	3	0	
		農林水産	39	37	▲2	
		商工	23	26	3	
		民生	156	141	▲15	
		衛生	46	42	▲4	
	土木	33	33	0		
		計	451	428	▲23	
	教育部門	101	109	8		
	消防部門	95	97	2		
	小計	647	634	▲13	<参考> 人口1万人当たり職員数 109.11 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 71.58 人)	
公 営 企 業 計 等 部 門	病院	339	340	1		
	水道	18	21	3		
	下水道	18	18	0		
	その他	32	33	1		
	小計	407	412	5		
合計			1,054 [1,135]	1,046 [1,135]	▲8 [0]	<参考> 人口1万人当たり職員数 180.02 人

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。(教育長は含まない)

2 []内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況(平成27年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	人 0	人 30	人 74	人 87	人 80	人 109	人 130	人 173	人 134	人 141	人 85	人 4	人 1,047

(3) 職員数の推移

(単位:人・%)

部門別 \ 年度	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	過去5年間の増減数(率)
一般行政部門	498	483	467	461	451	428	▲70(▲14.1%)
教育	95	90	99	101	102	110	15(15.8%)
消防	94	96	95	95	95	97	3(3.2%)
普通会計 計	687	669	661	657	648	635	▲52(▲7.6%)
公営企業等会計 計	391	392	398	408	407	412	21(5.4%)
総合計	1,078	1,061	1,059	1,065	1,055	1,047	▲31(▲2.9%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数です。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与の状況

ア 決算

区 分	総 費 用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 25年度の総費用に占め る職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
26年度	738,934	-120,024	83,048	11.2	11.2

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
26年度	11	41,399	6,634	19,751	67,784	6,162	6,219

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
2 職員数は、平成27年3月31日現在の人数です。

イ 特記事項

なし

② 職員の平均年齢、平均基本給及び平均月収額の状況(平成27年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
京丹後市(11人)	45.3 歳	318,552 円	519,178 円
団体平均	44.9 歳	348,021 円	517,229 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含みます。

③ 職員手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

京 丹 後 市	団 体 平 均
1人当たり平均支給額(26年度) 1,364 千円	1人当たり平均支給額(26年度) 1,484 千円
(25年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.50 月分	
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%	

イ 退職手当(平成27年4月1日現在)

京 丹 後 市	団 体 平 均
(支給率) 自己都合 勤続 20 年 20.445 月分 勤続 25 年 29.145 月分 勤続 35 年 41.325 月分 最高限度額 49.59 月分 その他の加算措置 定年前早期退職加算 2%~20%	勸奨・定年 25.55625 月分 34.5825 月分 49.59 月分 49.59 月分
1人当たり平均支給額 0 千円	1人当たり平均支給額 15,286 千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成26年度に退職した職員に支給された平均額です。

ウ 地域手当(平成27年4月1日現在)

支 給 実 績 (26年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(26年度決算)		0 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
—	— %	— 人	0 %

エ 特殊勤務手当(平成27年4月1日現在)

支給実績(26年度決算)	— 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(26年度決算)	— 円
職員全体に占める手当支給職員の割合(26年度)	— %
手当の種類(手当数)	—

オ 時間外勤務手当

支給実績(26年度決算)	4,296 千円
職員1人当たり平均支給年額(26年度決算)	477 千円
支給実績(25年度決算)	1,778 千円
職員1人当たり平均支給年額(25年度決算)	222 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含みます。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(○年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含みます。

カ その他の手当(平成27年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績(25年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(25年度決算)
扶養手当	ア 配偶者 13,000円 イ 配偶者以外の扶養親族 1人につき 6,500円 ただし、配偶者がいない場合 1人のみ 11,000円 ウ 満16歳になる年度の4月から満22歳になる年度の3月までの間にある子 1人につき5,000円加算	同じ	—	1,199 千円	171,286 円
住居手当	借家居住者 月額12,000円以上の家賃を支払っている場合 家賃額に応じて1,000円~27,000円	同じ	—	618 千円	309,000 円
通勤手当	ア 交通機関利用者 定期代相当分、限度額 1ヶ月当たり55,000円 イ 自動車等交通用具利用者(片道2km以上) 2km以上3km未満 3,000円、3km以上 1kmまでごとに600円を加算(限度額 24,500円) ウ アとイの併用者 アとイの合計額(限度額 1ヶ月当たり55,000円)	同じ	—	563 千円	80,429 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員のうち、課長補佐相当職以上の職員に対して、給料月額の100分の5から100分の25	同じ	—	1,194 千円	597,000 円